



浜松東営業所新車・フォークリフト納車式

10月4日(木)本社テント倉庫内にて、浜松東営業所に納車されるトラック1台とフォークリフトの納車式が行われました。新しいトラックには浜松東 2G 中本裕樹さんが乗務されます。乗務される中本さんより、新しいトラックについてのコメントを頂きました。



新しいトラックの話を受けた時は、浜松東営業所には若いドライバーが沢山いるのに、自分が乗ってしまっても良いのかな?とっていました。新しいトラックは、これまでのものよりも全体的な性能が格段に上がっているように感じます。しかしその分電子装備も多いので、覚えるのが少し大変ですが、頑張っけて乗りこなせるようにしていきます。また、今までのトラックと同様に、いつもピカピカの状態を保って気持ちよく運行します。新しいトラックに慣れるまで少し緊張しますが、気負わず、今まで通り当たり前の事を当たり前に行い業務に励みます。

浜松東 2G 中本裕樹



新しいフォークリフトとひまわり便ロゴマーク

これまで社内で使用していたフォークリフトの車体には社名を入れるのみでしたが、今回納車されたフォークリフトには、初めて「ひまわり便」のロゴマークを印字しました。よりマイシンらしいフォークリフトとなっていますので、使用される社員の皆様には、是非いつまでも大切に綺麗に使用して頂くようお願い致します。

第1回事故惹起者安全講習会

第41期の目標である事故撲滅活動の一環として、事故惹起者の教育を目的とした安全講習会の第1回目が10月6日(土)に行われました。今回は、安城自動車学校の渡邊様に外部講師としてお越し頂きました。今回の安全講習会について管理部稲橋係長よりお話を聞き、参加した乗務員の方々の感想を次のページに一部抜粋してご紹介します。

今期第1回目となるこの度の安全講習会は、8月・9月に事故(車両・荷物・作業)を起こした乗務員の方を対象に、事故の再発防止と安全への意識を今一度高めて頂く事を目的に開催しました。本社・浜松東営業所の参加対象者と、新入社員、事務員を合わせて20名の参加者の中、安城自動車学校の渡邊様より講義をして頂きました。

自動車学校の教習の一環にも用いられる「OD式安全性テスト」を実施し、「運動機能」や「健康度・成熟度」、「性格特性」などの細かい診断を行いました。結果を通して自身の運転の特徴や癖を知り、今後の運転や作業に活かしていく事が安全や事故の防止に繋がりますので、ぜひ参考にして下さい。テストの他には、「事故再発防止研修」と題し事故が起こる理由、事故を起こしやすいスピード、焦りが引き起こす認知や判断・操作のミスが事故に繋がる事などを学びました。



また、講義の中で渡邊様が繰り返し伝えていたのは、「社内ルールを守る」ことの大切さです。弊社にも、いくつかの社内ルールがあります。社内ルールは事故防止の為等、理由があって出来たものですので、必ず守るようにして下さい。「バック時の窓開け」「一時停止は車輪を確実に停止させて3秒以上」など、実行できていない方もいます。管理部でも注意喚起をしていきますが、自分自身で気付いて行動できるように心がけましょう。次回の講習会は12月1日(土)に開催予定です。10月・11月の事故惹起者が対象となりますので、参加対象者が出ないように無事故を目指して頑張りましょう。

管理部係長 稲橋宗一

日頃から頭では理解している事でも、講習を受け改めて事故の怖さを実感しました。普段できている行動も、ちょっとした気の緩みや思い込みがミスに繋がってしまいます。それを防ぐのが「確認」だと、その重要性を再度学びました。また、焦りで視界が狭くなってしまう事は自分にもありがちなので、気を付けます。今期の個人目標を『当たり前のことを当たり前にする』と掲げたので、本当の当たりの意味を考え行動していきます。 一般部 Y さん

講習を受け大変参考になる内容で、また自分の弱点を見つける事ができました。実際の事故映像は見ていて辛い物も多く、自分が当事者に決してならないように注意しなければならないと感じました。年齢を重ねる事で次第に運行能力は落ちてしまうので、その点をしっかり意識して行動していきます。今後は当たりの事を面倒だと思わず、きちんと確認してから行動していきます。 一般部 M さん

今後は、事故を起こしてしまう前に自分の弱点を見つける、周囲の人に自分の運転を見てもらいアドバイスをもらうなど、弱点を克服するための対策をしっかりしていきます。講習の中で、事故は時速 10 キロ以下に起きる事が多いと知り驚きましたが、速度がゆっくりだからと気を抜かず、必要に応じてサイドブレーキ・エンジン停止等の作業を徹底していこうと改めて思いました。今回、当たりの確認作業を行う事が思った以上に大変だと学びました。今回の気付きを活かし、手を抜くことなくしっかりと確認を行い、一呼吸を置く事、決して無理な運行・作業をしない事を心に置いて安全運転に努めます。 浜松東営業所 N さん

トラックパレード参加

10月6日(土)、交通安全活動の一環として愛知県トラック協会東三支部主催のトラックパレードが行われました。トラックのドライバーとして運行 6G リーダー鈴木祐子さん、ウグイス嬢として冷凍部業務課高橋桃香さんが参加され、交通安全のアナウンスを行いました。トラックパレードに参加された感想を、二人より頂きました。



この度は、トラック交通安全パレードに参加させて頂き、ありがとうございました。

荷物事故・物損事故など、起こってしまう事故には様々な種類のものがあります。そのどれもが起こしてはならない事故ですが、一番起きてはいけないのは人身事故だと今回改めて思いました。自分の命は自分で守る事は勿論ですが、自身が事故を起こして他人の命を奪うような事は決してあってはならないものです。

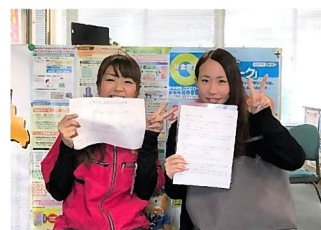
今年の7月、豊橋市内で大型トラックと自転車の事故が起こり、自転車に乗っていた中学1年生の子が死亡してしまいました。その子は私の息子と仲が良く、私自身もよく知っている子でした。その事故のニュースを見た時、そんな身近にいた子が亡くなってしまった事、そして何より事故を起こしたのが自分も仕事で慣れ親しんできたトラックであるというのが本当にショックでした。

今回のトラックパレードのような交通安全を呼びかける活動は、このような悲しい事故をなくすために必要なものだと強く思いました。また、一人ひとりがルールを守り、しっかりと意識し譲り合いの気持ちを持って、当たりの事を当たり前に取り組んでいけば事故は減っていくと思います。この度の活動を通し、より安全への気持ちが強くなりましたし、日々乗務員の皆さんが無事に会社まで帰って来てくれるように無事故を呼びかけていきます。

運行 6G リーダー 鈴木祐子

今回トラック交通安全パレードに参加して、人に自分の意思を伝える難しさを改めて実感しました。

毎年行われているこのトラックパレードは、様々なトラックが集まっているという事もあるととても迫力がありました。そんな人の注目を集めるようなトラックを使い大々的に交通安全活動を行っても、愛知県はなかなか事故全国ワースト 1 を抜け出すことができていません。それを知り、周囲の人達に伝わるにはまだ不十分なのかなと感じました。しかし、それでも色々な人達に事故防止の大切さを呼びかけ続ける事が重要で、それは社内であっても市内であっても、また県内と規模がどれだけ大きく変わったとしても変わらない事だと改めて思いました。そして、これから自分自身も、身近なところからでも呼びかけなどを行っていきたくと思いました。今回は貴重な体験ができて、とても嬉しかったです。この度はありがとうございました。



冷凍部業務課 高橋桃香

牟呂八幡宮祈禱

9月1日(土)、41期の始まりに、牟呂八幡宮へ安全祈願をして参りました。

お祓いを受け心身ともに清められた後、皆さんにサインして頂いたミドリ十字の旗と共にマイシンの無事故祈願の祈禱をして頂きました。社員の皆様が事故から守られるようにと幹部社員一同願いを込めたミドリ十字の旗は、本社事務所に掲げてありますので、ドライバーの皆様におかれましても、是非旗を通して改めて無事故への意識を持って頂ければ幸いです。



運転や業務において、「自分には関係ない」「このくらいなら大丈夫」等の気持ちでは、危険を回避し安全を確保する事はできません。注意すべきポイントを見つけ、どのように対策していくかを自ら意識していく事が安全な運転・作業へと繋がっていきます。また、講習会やミーティングを通し、様々な事故事例を学ぶ機会があると思います。そこで学んだものを他人事とせず、自分にも起こり得る事として真摯に受け止めて下さい。日々無事故への取り組みを意識し、事故は絶対にしないと強く心に誓い運行業務に努めて頂くようよろしくお願い致します。社員一丸となり、41期の無事故を目指しましょう。

取締役統括部長 佐原秀雄

☀️ カイゼン委員会 ☀️

カイゼン委員会では、今期の取り組みとしてカイゼンカードの積極的な提出を促し、良い提案内容を積極的に実施します。前期の振り返りを活かし、提案後の結果がきちんとわかるように経過報告の場を設ける・提出頂いたカードの整理を一週間に1回とする等、より迅速にカイゼン実施へ反映できるようにしていきます。社員の皆様におかれましては、是非カイゼンカードを通して、共により良い社内環境の整備にご協力をお願い致します。

カイゼンボードと提案書
本社 2階第3会議室廊下

新カイゼン提案書

カイゼン案	[年]月[日] [時間] [分] [秒]
氏名	G名
社内で困っていること・不便なことなど	
こうしたい!	
委員会コメント欄	
円	
会議日	完了日

こうしたい!!
上記の対応策をご記入下さい。
ここまで記入で 200 円。

委員会コメント欄
必ずご確認ください。
採用は 500 円～(会議で決定)

メンバー
長：大前 智
副：加藤秀昭
長岡誠一郎
岩瀬介治
山田登希美
平野昌代
高部敬子

社内で困っていること・不便なことなど記入下さい。
ここまでの記入で 50 円支給。

UDトラックス(株)様朝礼見学来社

9月6日(木)、UDトラックス株式会社様から4名来社され、活力朝礼を見学されました。朝礼後に皆様より感想を頂きましたので、ご紹介致します。



見ているこちらが活力をもらいました。3分間スピーチの感想発表では、社員皆さんが笑顔で談笑をする場面があり、社内の風通しの良さを感じました。同じサービス業として、参考にさせていただきます。この度はありがとうございました。 杉本様(写真右)

この度は貴重な機会を頂き、ありがとうございました。この度朝礼を見学させて頂き、朝からしっかりと声を出すことの重要性を実感しました。 山岸様(写真左)

とても立派な朝礼を拝見したと感じました。業務内容や立場に違いがあっても、朝礼を通して事務所全体で一体感を育てていて素晴らしいと感じました。 久野様(写真右)

朝の眠気が吹き飛んでしまうような迫力のある朝礼でした。改めて大きな挨拶の大切さを実感しました。是非会社に持ち帰り、若手社員を始め色々な人に今回の学びを伝えようと思います。ありがとうございました。 天野様(写真左)





新入社員紹介



運送業の仕事は初めてですが、一日でも早く仕事を覚えられるように頑張りますので、ご指導よろしくお願ひします。
運行 4G 佐々木優歩



運送業は全くの未経験での入社ですが、やる気と根気は満々です。皆さんと仲良く仕事ができるように頑張りますので、よろしくお願ひします。
浜松東 やまうちももこ 山内桃子

気付いた事は自分から率先してメモを取るなどとても積極的です。また、きちんと見直しもしているため覚えも早いです。笑顔で仕事ができるよう、一緒に頑張っていきましょう。
運行 4G 桐本ユリア

わからない事などはすぐに質問してくれたりしっかりとメモを取ったりと、意欲的な姿勢がとても良いです。覚える事がたくさんあって大変ですが、一緒に頑張っていきましょう。
浜松東 2G 河合由紀乃



前職では製造業をしていました。今回職種が違い少し戸惑う事もありますが、自分なりに努力し皆様のお役に立てるように頑張ります。
浜松東 はりまかずみ 播磨和美



わからない事ばかりでご迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが、一日でも早くドライバーとして力になるため、頑張っ業務に取り組みます。
浜松東 しらいゆうき 白井裕樹

初めての運送業とのことですが、仕事への姿勢が真面目で、挨拶も明るく元気なので安心して仕事を教えられるます。覚える事がたくさんありますが、一緒に頑張らましよう。
浜松東 1G 杉森 亮

言葉遣いや挨拶がとても礼儀正しく、教えた事を指差し呼称で丁寧に取り組むなど、仕事に対する姿勢に期待しています。その明るい笑顔と元気な挨拶で、共に成長していましよう。
浜松東 3G 長谷哲也

マイシン親睦会 秋レク日帰りバス旅行

9月16日(日)、マイシン親睦会の秋レクリエーションとして、長野県飯田市へ日帰りバス旅行に行きました。約2年ぶりの日帰り旅行となりましたが、総勢60名の方々にご参加頂く事ができました。

根羽村での豆腐作り体験や豆乳の試飲、美味しい昼食とフルーツの食べ放題や「お菓子の里飯田城」でのお菓子工場見学やお菓子のつかみ取りなど、盛沢山の体験をすることができました。参加された皆さんには、ご家族やご友人と一緒に楽しいひと時を過ごせたのではないのでしょうか。

親睦会では、今後も様々な企画を行い、会員やご家族の皆さんが楽しんで参加して頂けるように尽力していきます。リクエストがありましたら参考に致しますので、是非私や役員までお伝えください。
マイシン親睦会会長 稲橋宗一



ルーツへの希求

墓石業の専門店グループ「全国優良石材店の会」では、全国の男女千名を対象に、お墓参りに関するアンケート調査を行いました。調査結果として公表された中に、「墓参の頻度と自尊心との関連」という項目があります。

お墓参りの頻度が少ない人ほど、「自分の命を大切にしている」「将来の夢や目標に向かって努力することは惜しまない」といった質問への否定的な回答率が高く、自尊心が低くなる傾向にあると、同会では推察しています。

「ルーツへの希求」は、自然な感情です。だからこそ〈自分のルーツはここにある〉と実感できる機会の多少は、自尊心にも影響を及ぼすのかもしれません。

故郷から離れて暮らしているなど、お墓が遠い人は、墓参に行きたくても、なかなか足を運べないものです。

それでも、仏壇や神棚の前で手を合わせたり、祖父母や両親の写真を飾ったり、折に触れて祖先の話をするなど、取り組めることはあるでしょう。

自身の源に思いを馳せる、静かな一時を持ちたいものです。

今日の心がけ：親祖先を思う時間をつくりましょう

職場の教養：10月21日(日)より